

“THE INVISIBLE MOM”
MISATO YAMAMOTO PHOTO EXHIBITION



山本美里写真展

「いま、ここに在るということ」

2025 LUMBINI ART MUSEUM

5/16 金 10/4 土

るんびにい美術館 ボーダレス・ギャラリー

開館時間=午前10時~午後3時30分 入館料=無料 休館日=毎週水・日曜日、毎月第4火曜日

夏季臨時休館日=8月12日(火) 主催=社会福祉法人光林会 るんびにい美術館

お問い合わせ | るんびにい美術館

〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1丁目21-29 TEL: 0198-22-5057

Mail: museum-lumbi@kourinkai-swc.or.jp

URL: <https://www.kourinkai.net/museum-lumbi/>



るんびにい美術館
borderless art collection



「いまここに 在るということ」 透明人間の

山本美里写真展

山本 美里 写真家

1980年生まれ。2008年、第3子が障害を持って生まれ、「医療的ケア」を必要とする子の親となる。その息子が特別支援学校入学を機に、学校待機の日々が始まる。2017年京都芸術大学通信教育学部美術科写真コースへと進み、息子に常に付き添う自分自身を被写体とした写真作品の制作を開始。2023年12月、写真集「透明人間 -Invisible Mom-」をタパブックスより出版。現在は、主に自分自身の身の回りで起きた出来事や想いをテーマにし、制作を続けている。

ギャラリートーク開催情報

ギャラリートークでは、制作に至るまでの背景や撮影時のエピソード、母親の立場について等、山本さんご自身の言葉で語っていただきます。ぜひご参加ください。

日程 2025年9月6日(土) 14:00～15:30

会場 るんびにい美術館 ボーダレス・ギャラリー

料金 無料

定員 30名(要申込)

申込方法 氏名・住所・電話番号・人数を明記して下記いずれかの方法でお申し込みください。

Mail: museum-lumbi@kourinkai-swc.or.jp

FAX: 0198-29-5058

2008年に第3子が障害を持って生まれ、日常的に人工呼吸の管理、痰の吸引や経管栄養などの「医療的ケア」を必要とする子の親となった山本美里さん。その息さんが特別支援学校へ入学するにあたり条件として提示されたのは、保護者が学校に付き添って下校時間まで校内待機することでした。息子さんに必要な一部の医療的ケアを、学校の看護師では担うことができないためです。万が一の急変に備えて、教室や待機室の隅で、ただただ時間が過ぎるのを待つ毎日。

——学校は教育現場であり、子どもたちの自立の場です。必要なとき以外、お母さんは気配を消していただきます。——

自分自身の存在の輪郭が薄れゆく葛藤を抱える日々の中、心の支えとなったのが写真を撮ることでした。校内待機の時間を使い、まるで「透明人間」のように過ごす自分の姿にシャッターを切った山本さん。2023年には写真集「透明人間 -Invisible Mom-」(タパブックス)が出版され、全国各地で大きな共感を呼びました。そして「透明人間」以降、山本さんご家族に様々な出来事や変化がありました。自身や家族、またそれらの存在が置かれた世界への写真を介した問いは、日々をつらぬいて今日も続いています。かつて透明人間であった山本さんの存在が重ね続ける、「いま」をお伝えいたします。



《交通》

- 東北自動車道花巻・花巻南インターから車で約10分
- JR東北本線 花巻駅からタクシーで約5分
- 「星めぐり号」花巻東高校前下車徒歩約1分
- 東北新幹線新花巻駅からタクシーで約15分



るんびにい美術館
borderless art collection

【入場無料】 開館 10:00～15:30

休館日 毎週水・日曜日、毎月第4火曜日

〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘1-21-29

【ギャラリー専用】 電話 0198-22-5057・FAX 0198-29-5058

ホームページ、フェイスブックもぜひご覧ください。



るんカフェ **Heart・Pit**

〈るんびにい美術館内〉 11:00 オープン～15:30 (15:00ラストオーダー)

【カフェ・バーカリー専用】 電話 0198-29-5395

